

長期戦略2040

(概要版)

令和2(2020)年5月

長野地域経済成長けん引プロジェクトチーム

年度	月日	会議名	内容	
2019 (令和元)	4月12日	第1回ワーキング	・概要説明、班分け(4班／商工①、商工②、観光、農林)	
	26日	第2回ワーキング	・SWOT分析①(外部環境、内部環境、強み、弱み)	
	5月17日	第3回ワーキング	・既存計画とPJ検討の整理(長野経済研 小澤理事)、SWOT分析②	
	6月17日	第4回ワーキング	・「第四次産業革命時代の地域産業政策について」(関東経済産業局) ・長期ビジョン案検討①(2040年ありたい姿)	
	28日	第5回ワーキング	・長期ビジョン案検討②(2040年ありたい姿)	
	7月17日	第6回ワーキング	・「未来構想プロジェクトについて」(市長公室)、ロジックツリー図①	
	8月21日	第7回ワーキング	・ロジックツリー図②	
	9月12日	第8回ワーキング	・長期ビジョン骨子案まとめ	
	10月4日	第9回ワーキング (戦略マネージャー就任)	・戦略マネージャー自己紹介 ・プロジェクトチーム検討内容説明(長期ビジョン骨子案について)	
				10月12日～13日 台風第19号災害
	10月25日	コアワーキング①	・ビジョンの意義、長野市全体(分野統合)の2040ビジョンの意見出し	
	11月11日	コアワーキング②	・長野市の「強み」の探求(中核市行政水準比較など)	
	25日	コアワーキング③	・全体ビジョン案の方向性	
	12月16日	コアワーキング④	・検討経過を踏まえた分野ごとのミッション、目標(素々案)の検討	
	1月中旬	分野別ワーキング	・コアワーク検討内容共有、戦マネ現地調査、内容討議	
	27日	コアワーキング⑤	・現地調査結果など共有、内容討議	
	2月3日	第10回ワーキング	・10月以降の検討内容共有、各マネージャー報告、意見交換	
	6日	プロジェクトチーム会議	・検討経過、長期戦略イメージについて	
	2～3月	分野別ワーキング	・内容討議	
				新型コロナウイルス感染症の拡大
3月23日	プロジェクトチーム会議	・長期戦略の検討課題について		
2020 (令和2)	4月中旬	分野別ワーキング	・「長期戦略2040」素案の検討	
	30日	プロジェクトチーム会議	・「長期戦略2040」素案について	
	5月中旬	分野別ワーキング・プロジェクトチーム会議	・「長期戦略2040」案について(書面による確認)	
	5月27日	「長期戦略2040」市長へ提出		

年度	月日	会議名	内容
2018	3月	市議会 一般質問	戦略マネージャーの活用についてなど
2019	4月8日	市議会 政策説明会	けん引プロジェクトチームの設置等について
	8月22日	長野地域連携推進協議会 幹事会	戦略マネージャー採用選考実施状況について
	10月4日	戦略マネージャー就任 記者発表会	戦略マネージャー自己紹介、決意表明など
	2月19日	長野地域連携推進協議会 (9市町村長会議)	戦略マネージャー4名同席、自己紹介など
	3月	市議会 一般質問	けん引プロジェクト、戦略マネージャーの進捗・今後についてなど
	3月12日	市議会 総務委員会	けん引プロジェクトチームの検討経過について

◆ 2040年頃の社会

1 人口構造の変化

- ・団塊ジュニア世代が高齢者
- ・高齢者人口のピーク、生産年齢人口の減少
- ・人口減少の加速

2 地球規模での課題

- ・SDGsの推進
- ・気候変動による災害増加(大雨、台風など)
- ・新型コロナウイルス感染症

3 先端技術の活用

- ・Society5.0
- ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット

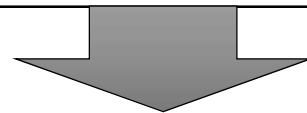
市民の生活様式の変化

◆ アフターコロナ時代の社会変化

- ・デジタル化の加速
- ・サプライチェーンの見直し
- ・生産拠点の国内回帰・分散化
- ・首都圏本社機能の見直し
- ・東京一極集中の是正
- ・リモートワークの普及
- ・働き方改革の促進
- ・ライフスタイルや価値観の変化 など



- ・日本経済の本質的課題を抜本的に見直す機会
- ・地方にとってチャンスとなる変革



2040年の将来像、ありたい姿を描き、バックキャストिंगの手法で、次世代、未来へとつながる取り組みを実現する。

長野市の2040ビジョン

自然の循環と経済の発展を両立させる、
長野らしい、世界に誇る「産業」創造で、
平均所得を倍増する。

➤ 長野の暮らしと伝統技術

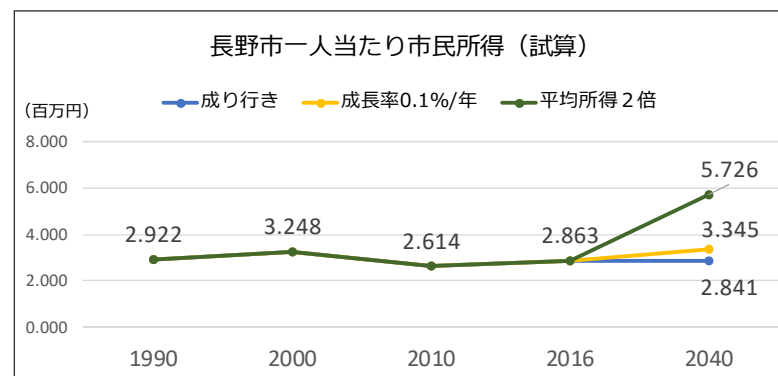
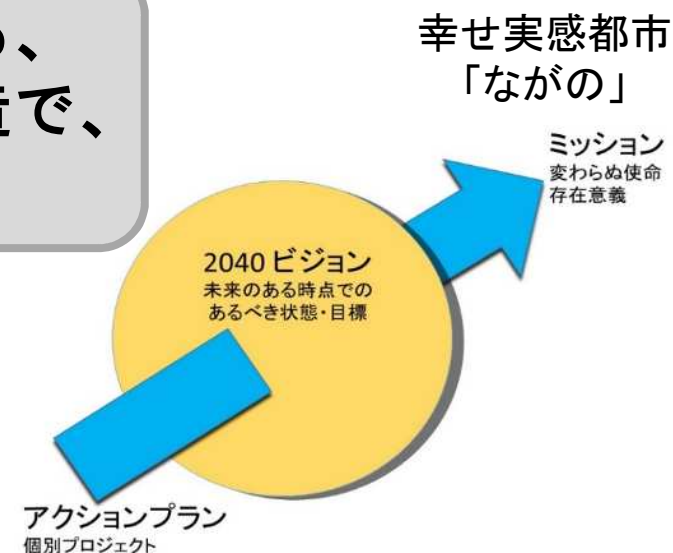
- ・身近な自然、四季、スローライフの実践
- ・生ごみのたい肥化、再利用
- ・味噌、醤油、漬物など発酵技術

➤ 自然循環と経済発展の両立

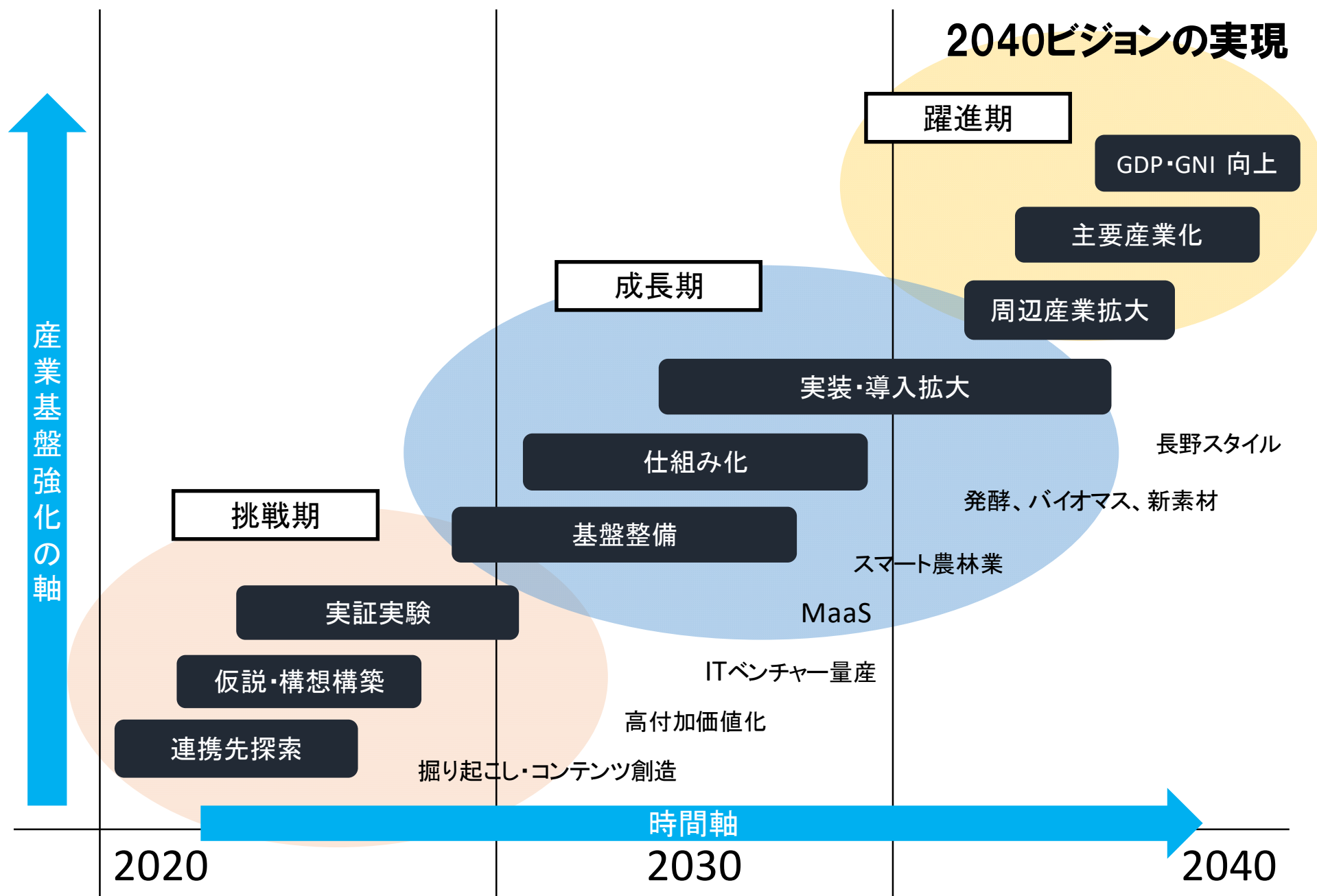
- ・自然に負荷をかけず資源を有効活用
- ・地元経済に配慮した「循環型経済」による発展
- ・自然と経済の調和、SDGs視点で創造、再構築

➤ 2040年に向けたチャレンジ目標

- ・従来の延長線での取り組みだけでは達成できない。
- ・これまでの発想、やり方を変えてイノベーションを起こすためのストレッチ目標
- ・戦略プロジェクトを契機とした好循環を全産業に波及させて目標達成を目指す。



出典：平成28年度市民所得推計結果報告書ほか

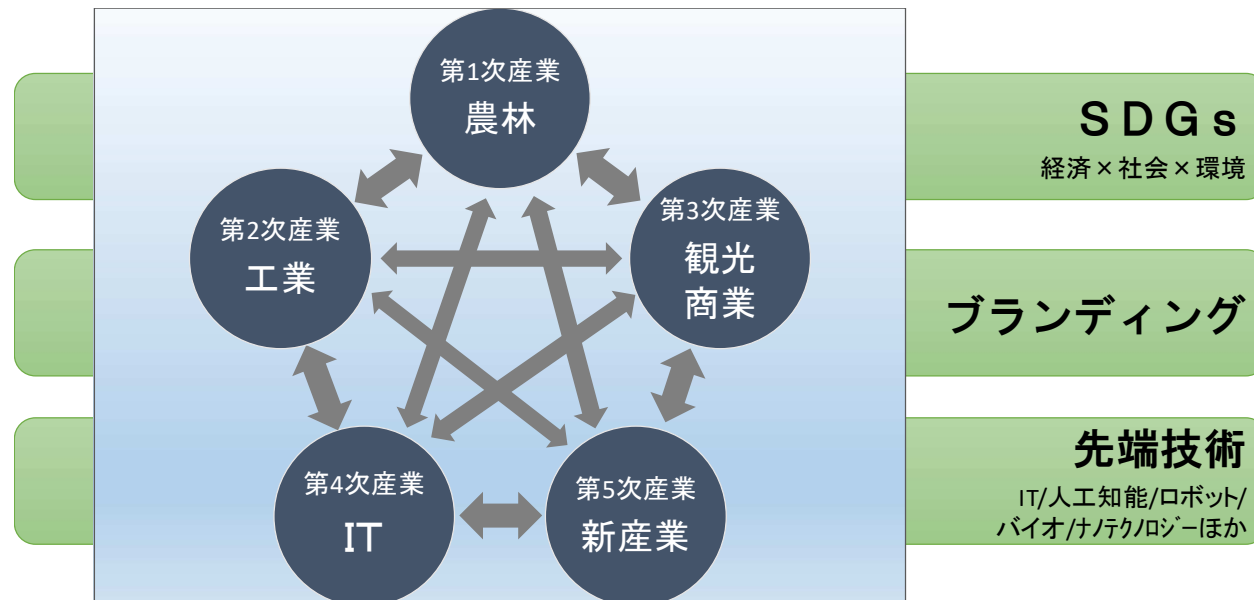


<検討分野>

- 新産業・IT・工業分野
- 既存産業分野(農林業×観光×商業など)
- ブランディング分野

<プロジェクト構築の視点>

- ✓ 未来の成長市場の核となる「新産業」創出を目指す。
- ✓ 各産業分野の掛け合わせにより、世界基準の新たな価値を創造する。
- ✓ 経済、社会、環境の3側面の統合的向上を図る「SDGs」の視点をもつ。
- ✓ 都市ブランディングを戦略的に実行する。
- ✓ 先端技術の活用を前提とする。



■新産業・IT・工業分野ビジョン(2040到達目標)



発酵、長寿、環境対応型生活スタイルの強みを武器に、世界初の
新産業を創出する。

～新産業＋工業分野で、生産額2倍を目指す～

●「既存ポテンシャル企業の成長推進」プロジェクト

- ・世界で戦える技術を保有する企業(オンリーワン技術企業)の経営強化
- ・知的財産権の活用(「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」)
- ・サプライチェーンの国内化をとらえた企業誘致戦略

●「IT(ICT)産業集積促進」プロジェクト

- ・地域課題解決型ITベンチャーの量産
- ・高付加価値開発受託企業の育成(首都圏営業企業との提携)
- ・大手IT企業の開発拠点の誘致、リモートワーカーの取り込み

●「新産業創出」プロジェクト

- ・バイオマス産業 ex.発酵技術、信州ソルガム活用、バイオ水素エネルギーなど
- ・バイオテクノロジー産業 (ICTによる医療DB蓄積によるメディコンバレー)
- ・宇宙産業 (カーボンナノチューブによる宇宙エレベーター基地)
- ・アクアイノベーション産業 (革新的な水質浄化システム関係産業の集積)

■ 農業分野ビジョン(2040到達目標)



特産農産物の高付加価値化と、持続可能な生産体制を確立する。
～全国ナンバーワン農産品ブランドの確立～

● 「ながの農家アワード」プロジェクト

- ・チャレンジ精神旺盛な若手農業者のモチベーション向上、次の挑戦の起点の場づくり
- ・長野市で農業を行う安心感、高揚感の醸成、相互承認によるコミュニティ化、担い手育成

● 「スマート農業推進」プロジェクト

- ・品質とトレードオフにならない先端技術活用による生産工程イノベーション
- ・りんご、ぶどう、ももなど果樹生産の栽培技術の可視化、先端技術の導入研究など

● 「プレミアム価格獲得(ブランド化)」プロジェクト

- ・販売単価の向上、ブランド構築に寄与するマーケティング戦略で、クオリティを求める販路を起点とした流通モデル変革に取り組む。
- ・オリジナルブランド、プレミアムアンテナショップ
- ・「安心安全」軸でのジビエブランド構築(特別メニュー開発・提供など)
- ・観光×農業による付加価値化



■ 林業分野ビジョン(2040到達目標)

長期構想を確立し、循環型の森林活用や自然のコンテンツ化で、市場を創造し、経済価値を生み、全国のモデルとなる管理体制を構築する。

● 「森林マネジメント体制確立」プロジェクト

- ・官民一体の持続可能な管理体制を確立
- ・(仮称)長野市森林整備ビジョン(R2策定予定)、森林経営管理法に基づく体制構築と連動
- ・後継者、新規従事者など担い手育成(ヒト、モノ、カネ、技術承継マッチングなど)

● 「次世代林業推進」プロジェクト

- ・木質バイオマスの循環システム、先端技術を活用したスマート林業
- ・全国のモデルとなる生産管理体制の構築、民間との協業による実証実験など

● 「豊かな自然を活かしたコンテンツ創造」プロジェクト

- ・市有地(森林)のリコンセプトによるコンテンツ化 ex.飯綱、地附山など
- ・里山を活かしたホンモノアウトドア(アウトドアブランドとの連携、体験型観光など)
- ・里山教育事業(環境教育、キャリア教育)



■観光分野ビジョン(2040到達目標)

観光による経済循環を創造し、住民にも、訪問者にも、地球にも優しい形で、世界に誇る持続可能な観光先進都市を実現する。

●「Z世代へ向けた観光需要喚起プロモーション」プロジェクト

- ・Withコロナ／Afterコロナ時代の観光スタイルの構築
- ・SDGs視点の体験型コンテンツを創造し、Z世代など若者の観光需要を獲得
- ・誘客プロモーションのデジタルシフト(デジタルコンテンツ、デジタルチャネル)
- ・Z世代の発信をきっかけに他の世代への波及を目指す。

●「持続可能な観光地域づくり」プロジェクト

- ・官民一体の観光地域づくりプラットフォーム構築
- ・広域マーケティング、テーマ型観光などを推進
- ・SDGsに貢献する観光先進地域を目指す。

Z世代:1995年～2015年の間に生まれた世代

2020年:5～25歳
⇒2040年:25～45歳

●「グローバルな観光インフラ整備」プロジェクト

- ・来訪者にとって快適な観光インフラ整備と活用サービスの導入検討
- ・Wi-Fi、キャッシュレス
- ・先端技術を活用したMaaS、グリーンスローモビリティ、自動運転、オンデマンドタクシー等

■ブランディング分野ビジョン(2040到達目標)



世界基準の「超」創造都市 NAGANO
～しなやかに。育み、そして創発する。～



●「都市ブランディング」プロジェクト

- 長野の多様性をクリエイティブで一気通貫し、国内外にコミュニケーションをとる。
- 提供価値の明確化、ブランドターゲット設定
 - ・長野ブランドガイドライン策定(ビジュアルアイデンティティ、タグライン、ロゴ、キービジュアルなど規定)
- コンテンツ・メディアアプローチ
 - ・シティプロモーション「ナガラボ」、「Nターン」、「おしごとながの」など既存プロジェクトのコンテンツ整理、強化、編成プロジェクトの実施
- 「ブランドデザイン室」の設置、クリエイティブディレクターの採用検討
 - ・シティプロモーション、広報業務との連動、一元管理などブランドコントロール
 - ・新産業および既存産業分野の各プロジェクトへのクリエイティブ支援
 - ・NAGANOクリエイティブイノベーションアワード／ブランドアンバサダー起用
 - ・若手クリエイター、アーティストへのラボ環境提供
 - ・ユネスコ創造都市(創造都市ネットワーク)への参加検討 など

2040ビジョン

自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい、世界に誇る「産業」創造で、平均所得を倍増する

■ 新産業・IT・工業分野ビジョン(2040到達目標)

発酵、長寿、環境対応型生活スタイルの強みを武器に、世界初の新産業を創出する
～新産業+工業分野で、生産額2倍を目指す～

<個別プロジェクト>

- 「既存ポテンシャル企業の成長推進」プロジェクト
- 「IT(ICT)産業集積促進」プロジェクト
- 「新産業創出」プロジェクト

■ 農業分野ビジョン(2040到達目標)

特産農産物の高付加価値化と持続可能な生産体制を確立する。
～全国ナンバーワン農産品ブランドの確立～

<個別プロジェクト>

- 「ながの農家アワード」プロジェクト
- 「スマート農業推進」プロジェクト
- 「プレミアム価格獲得(ブランド化)」プロジェクト

■ 観光分野ビジョン(2040到達目標)

観光による経済循環を創造し、住民にも、訪問者にも、地球にも優しい形で、世界に誇る持続可能な観光先進都市を実現する。

<個別プロジェクト>

- 「Z世代へ向けた観光需要喚起プロモーション」プロジェクト
- 「持続可能な観光地域づくり」プロジェクト
- 「グローバルな観光インフラ整備」プロジェクト

■ 林業分野ビジョン(2040到達目標)

長期構想を確立し、循環型の森林活用や自然のコンテンツ化で、市場を創造し、経済価値を生み、全国のモデルとなる管理体制を構築する。

<個別プロジェクト>

- 「森林マネジメント体制確立」プロジェクト
- 「次世代林業推進」プロジェクト
- 「豊かな自然を活かしたコンテンツ創造」プロジェクト



■ ブランディング分野ビジョン(2040到達目標)

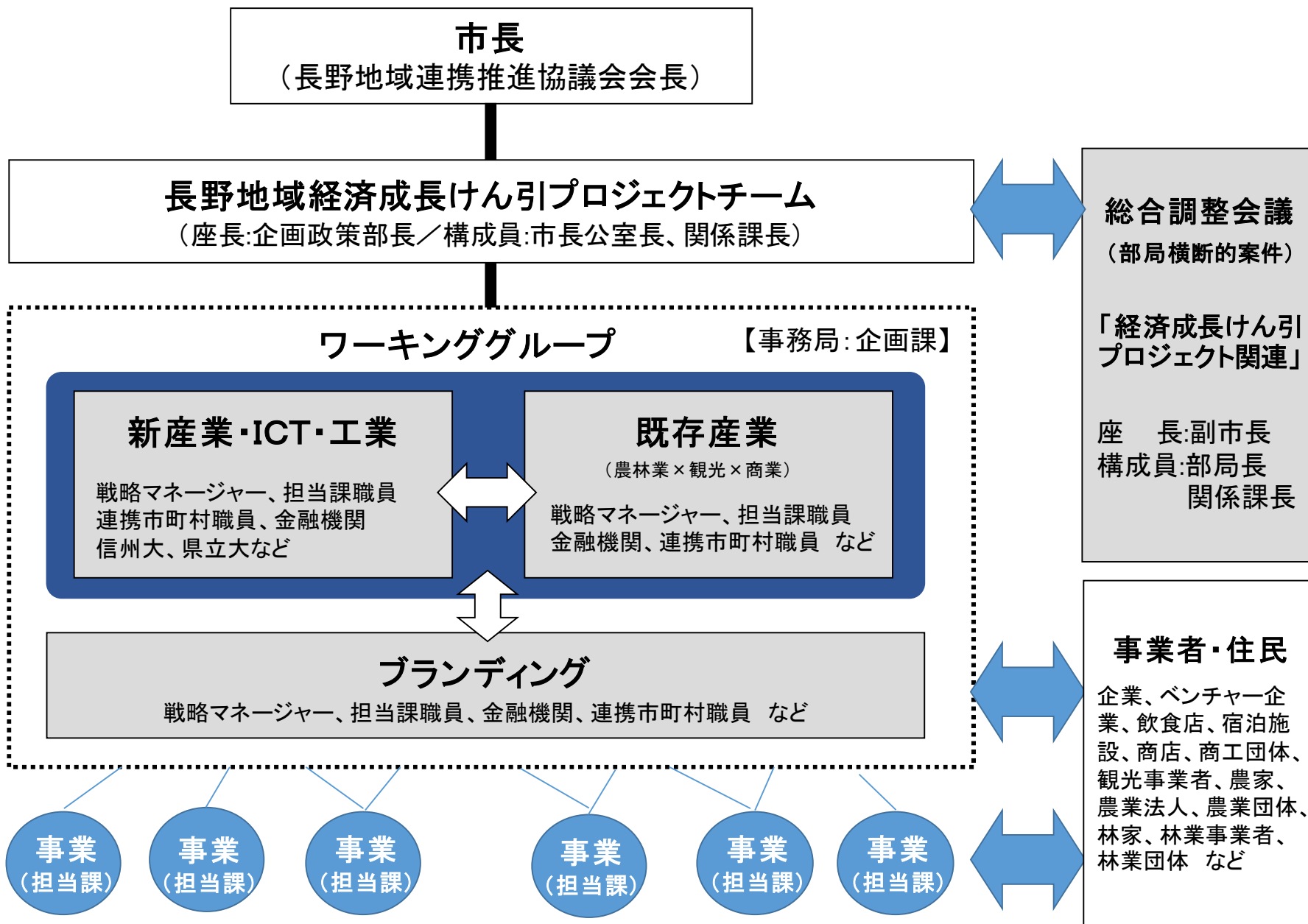
世界基準の「超」創造都市NAGANO ～しなやかに。育み、そして創発する。～

<個別プロジェクト>

- 「都市ブランディング」プロジェクト
ブランドデザイン室の設置／長野市ブランドガイドライン策定／NAGANOクリエイティブイノベーションアワード実施／著名人・アーティストによるブランドアンバサダー起用／若手クリエイター、アーティストへのラボ環境提供／地元企業等へのクリエイティブサービスの紹介、コーディネート／ユネスコクリエイティブシティーズネットワークに申請

氏名	WG分野	主な担当内容
井上マネージャー	新産業・ICT・工業	全体統括、工業、先端技術、ICT、イノベーション、新産業創出など
瀬口マネージャー	既存産業	観光分野、インバウンド、プロモーションなど
土山マネージャー		農林業分野、マーケティング、プロダクト開発など
五十嵐マネージャー	ブランディング	全体ブランディング、商業、プロモーションとの融合など

<p>1 名前 井上 葉子 (いのうえ ようこ)</p> <p>2 学歴 一橋大学 社会学部</p> <p>3 主な職歴<直近順> 国立大学法人東京工業大学 (現職) 産学連携本部 リサーチ・アドミニストレーター  株式会社ニトリホールディングス 組織開発室 室長 執行役員、経営計画推進室 室長 執行役員 (株式会社カチタス 社外監査役)  トヨタ自動車株式会社 総合企画部 担当部長、人材開発部 担当部長  株式会社リクルート 人事部ダイバーシティ推進室 室長 eyeco(アイコ)推進室 室長、新規事業開発室 室長 </p>	<p>1 名前 五十嵐 理 (いがらし さだむ)</p> <p>2 学歴 カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 芸術学部 映画学科 </p> <p>3 主な職歴<直近順> 株式会社ワーナーミュージック・ジャパン (現職) 株式会社AbemaTV チーフプロデューサー 株式会社WOWOW プロデューサー 株式会社電通 営業局</p>
<p>1 名前 瀬口 美由貴 (せぐち みゆき)</p> <p>2 学歴 英国 ロンドン大学シティ校 (金融ジャーナリズム 修士号) 英国 オックスフォード・ブルックス大学 (英語と言語学 学士号) 英国 セントアンドリュース大学</p> <p>3 主な職歴 航空・旅行業界紙の記者を経て、金融経済紙ウォール・ストリート・ジャーナルを発行するダウ・ジョーンズ社や、日本放送協会 (NHK) の国際放送局NHKワールドで英文記者として勤務。その後、ゼネラル・エレクトリック (GE) などの大手外資系企業でコミュニケーションのスペシャリストとして、PRや危機管理などの広報業務を担当。現在は、東京を拠点に、PRコンサルタントとして企業の広報支援を行っているほか、長野県内へ富裕層インバウンド客を呼び込むためのプロジェクトにも携わっている。</p> <p>THE WALL STREET JOURNAL  </p>	<p>1 名前 土山 浩平 (つちやま こうへい)</p> <p>2 学歴 慶應義塾大学 法学部 </p> <p>3 主な職歴<直近順> 株式会社トモノカイ (現職) 学習デザイン部門 共創推進チーム兼HR/マーケティングチーム マネージャー  株式会社ユー・エス・ジェイ フードサービス部 フードマーケティンググループ 課長  株式会社オリエンタルランド フード本部 フード仕入開発部/経営戦略本部 経営統括部  丸紅株式会社 プラント・船舶・産業機械部門 </p>



➤ 市の計画としての位置付けについて

- ・長期戦略はプロジェクトチームの提案として、市長（長野地域連携推進協議会長）へ提出されたもの。
- ・長期戦略は、個別プロジェクトの方向性までの整理。今後、担当課を中心に内容の詳細検討を行い、順次、事業化を目指す。
- ・事業化の段階で、市の各計画に位置付け（KPI設定）、予算化していく。
- ・連携自治体との連携効果が高い事業については、長野地域スクラムビジョン（連携中枢都市圏ビジョン）の連携事業に位置づけ、展開していく。

➤ 総合計画や個別計画のKPIとの整合について

- ・総合計画や個別計画の次期計画のKPI設定の際は、長期戦略のロードマップやストレッチ目標を踏まえ、設定値を検討（チャレンジ目標としての位置づけは考慮）

➤ 長期戦略2040の進捗管理について

- ・長期戦略全体の進捗管理については、「戦略マネージャー活用事業」として、企画課で管理。同事業のKPIは、R3年度末時点での事業化数「5事業」と設定